

## 広島県地域再犯防止推進モデル事業概要

事業名称	非行少年等立ち直り支援事業																																			
事業目的	国の刑事司法機関、県の就労、福祉、教育を担当する部署、地域の支援団体等が、情報共有やケース検討の場を持ち、それぞれの役割を明確にしつつ、刑事司法手続における支援の対象外となる者のニーズを把握し、適切な支援を行うことによって、再非行・再犯の防止を目指す。																																			
取組内容①：非行少年等に対する実態調査等																																				
事業内容	非行少年等の立ち直り支援をテーマとして、国、県、支援団体からなる連絡会議を立ち上げ、 (1) 非行少年等に対する実態調査 (2) 効果的な支援方法の検討 (3) 実際の事例を基にしたケース検討 を実施した。																																			
活動指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">活動指標</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">R1年度</th> <th style="width: 10%;">R2年度</th> <th style="width: 30%;">特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①会議開催回数 (連絡会議)</td> <td rowspan="2">回数</td> <td>目標</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②ケース検討会議 開催回数</td> <td rowspan="2">回数</td> <td>目標</td> <td>－</td> <td>10回</td> <td>6回</td> <td rowspan="2">新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2年度は不開催</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>－</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> </tbody> </table>							活動指標	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	特記事項	①会議開催回数 (連絡会議)	回数	目標	2回	3回	3回		実績	2回	2回	2回	②ケース検討会議 開催回数	回数	目標	－	10回	6回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2年度は不開催	実績	－	1回	0回
活動指標	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	特記事項																														
①会議開催回数 (連絡会議)	回数	目標	2回	3回	3回																															
		実績	2回	2回	2回																															
②ケース検討会議 開催回数	回数	目標	－	10回	6回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2年度は不開催																														
		実績	－	1回	0回																															
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護観察等の刑事司法手続が終了した時点で国の支援を打ち切られる者や起訴猶予等により不処分となり国の支援を受けられない者がいるため、これらの者に対する支援を検討する。</li> <li>・刑事司法関係機関から保健医療・福祉サービス提供機関（市町、高齢・福祉施設、医療機関等）へ情報提供するための法規定がないため、円滑な情報提供を行うことができるよう、法務省に法整備を要望する。</li> </ul>																																			
取組内容②：非行少年等に対する就労支援事業																																				
再委託先	特定非営利活動法人広島県就労支援事業者機構																																			
事業内容	保護観察終了時に無職である少年、家庭裁判所において審判不開始・不処分となった少年を対象に、就労につなげるための支援として就労体験等を実施した。																																			
活動指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">活動指標</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">R1年度</th> <th style="width: 10%;">R2年度</th> <th style="width: 30%;">特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">就労体験実施者数</td> <td rowspan="2">人数</td> <td>目標</td> <td>－</td> <td>40</td> <td>40</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>－</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							活動指標	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	特記事項	就労体験実施者数	人数	目標	－	40	40		実績	－	3	0											
活動指標	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	特記事項																														
就労体験実施者数	人数	目標	－	40	40																															
		実績	－	3	0																															
成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">成果指標</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">H30年度</th> <th style="width: 10%;">R1年度</th> <th style="width: 10%;">R2年度</th> <th style="width: 30%;">特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">保護観察終了少年のうち、支援対象者の6カ月以内の再非行率</td> <td rowspan="2">%</td> <td>目標</td> <td>－</td> <td>15</td> <td>15</td> <td rowspan="2">R2年度は対象者なし</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>－</td> <td>0</td> <td>－</td> </tr> </tbody> </table>							成果指標	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	特記事項	保護観察終了少年のうち、支援対象者の6カ月以内の再非行率	%	目標	－	15	15	R2年度は対象者なし	実績	－	0	－											
成果指標	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	特記事項																														
保護観察終了少年のうち、支援対象者の6カ月以内の再非行率	%	目標	－	15	15	R2年度は対象者なし																														
		実績	－	0	－																															
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労体験により就職した3人のうち2人は、半年以内に離職していることから、就労体験だけでは職場定着につながらないため、就職後の効果的なフォローアップのあり方を検討する。</li> <li>・保護観察終了時に無職である者の割合は少年より成人が高く、成人に対する就労支援のニーズが高いことが見込まれるため、少年に対する就労支援に加えて、成人の就労支援についても検討を行う。</li> </ul>																																			